

平成27年度 外務省ODA予算の概要

I. 27年度当初ODA予算

	平成26年度		平成27年度	
	当初予算額	伸率	政府案	伸率
政府全体	5,502	▲ 1.3%	5,422	▲ 1.5%
うち 外務省	4,230	0.4%	4,238	0.2%
無償資金協力	1,667	1.5%	1,605	▲3.7%
JICA運営費交付金	1,503	2.3%	1,464	▲2.6%
分担金・拠出金	431	▲ 13.8%	471	9.4%
援助活動支援等	630	4.8%	698	10.8%

(参考) 26年度補正ODA予算追加額

(単位:億円)			
政府全体			1,517
うち 外務省			1,517
【外務省分 主なもの】			
>エボラ出血熱等感染症対策を含む緊急人道・復興支援	869	>中東・北アフリカ・欧州地域の安定化支援	341
>PKO分担金	17	>ODAを活用した中小企業の活性化支援	67
>地域経済の活性化支援	175	>アフリカ諸国の人材育成を通じた地域活性化・中小企業等のアフリカ進出支援(ABEイニシアティブ)	36
>JICA・国際交流基金内拠点施設の防災力強化事業	3		

II. 27年度当初ODA予算の形態別概要

>無償資金協力

1, 605 億円 (▲62 億円、▲3.7%)

- 国家安全保障戦略、日本再興戦略等も踏まえ、①普遍的価値の共有、国際社会の平和と安定に向けた協力、②途上国と日本の経済成長のための戦略的なODAの充実、③人間の安全保障の推進、④戦略的なパートナーシップの構築等を柱とし、積極的・戦略的に展開するため、以下の重点事項を中心に所要額を計上。

⇒平和構築・人道支援、テロ対策 129 億円、海上保安能力強化、シーレーン安全確保 14 億円、ジェンダー平等と人権の確保 112 億円、インフラシステム輸出 476 億円、地方自治体の国際展開支援など 30 億円、防災・災害対策 163 億円、環境問題・気候変動対策 228 億円、MDGs 達成支援など 193 億円、戦略的なパートナーシップの強化 16 億円

> J I C A 運営費交付金 1, 464 億円 (▲39 億円、▲2.6%)

- 国家安全保障戦略、日本再興戦略等も踏まえ、①普遍的価値の共有、国際社会の平和と安定に向けた協力、②途上国と日本の経済成長のための戦略的なODAの充実、③人間の安全保障の推進、④戦略的なパートナーシップの構築等を柱とし、積極的・戦略的に展開するため、以下の重点事項を中心に所要額を計上。

⇒法の支配、民主化、ガバナンスの確保 43 億円、平和構築・人道支援、テロ対策 42 億円、海上保安能力強化、シーレーン安全確保 6 億円、ジェンダー平等と人権の確保 47 億円、インフラシステム輸出 190 億円、ビジネス環境整備 133 億円、地方自治体の国際展開支援など 16 億円、防災・災害対策 62 億円、環境問題・気候変動対策 155 億円、MDGs 達成支援など 300 億円、戦略的なパートナーシップの強化 23 億円、国民参加機会の拡大 148 億円

> O D A 分担金・拠出金 471 億円 (41 億円、9.4%)

- 分担金及び義務的拠出金については、国際的な義務を誠実に履行
 - 任意拠出金（総額 248 億円 (+17 億円、+7.5%)）については、行政改革推進会議「秋のレビュー」における指摘事項、既存のコミットメント等を踏まえてメリハリ付け
- ⇒国連開発計画（UNDP）拠出金アファンド 67 億円 (+2 億円、+2.3%)
- ⇒国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）拠出金 39 億円 (▲2 億円、▲5.0%)
- ⇒国連人口基金（UNFPA）拠出金 23 億円 (▲1 億円、▲5.0%)

> 援助活動支援等

- 在外公館における経費 等